

平成28年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府経済学専攻

博士課程前期 研究生募集要項

【出願手続について】

出願手続は、インターネットから出願申請を行った上で、必要書類を提出してください。

1. 出願申請に必要な環境

出願申請を行うためには、インターネットを利用できるパソコン、プリンター及び電子メールアドレスが必要です。

2. 出願手続の流れ

(1) メールアドレス等の登録

①本学のWeb出願システムにアクセスしてください。

URL : <https://e-apply.jp/e/ynu-rs/>

②画面の指示に従って、志望する専攻等を指定してください。

③氏名やメールアドレス等を登録し、申込を行ってください。

④メールアドレス等の登録が済みましたら、登録完了メールが届きます。

(2) 出願申請から出願書類提出まで

①Web出願システムにログインし、必要な事項を入力し登録してください。(出願申請)

②出願申請後、Web出願システムから入学検定料の支払い方法を選択してください。

③選択した方法に基づき、入学検定料を支払ってください。

④入学検定料の支払完了通知メールを受信した後、Web出願システムから出願に必要な書類を印刷してください。

⑤印刷した書類及び証明書等を所定の出願期間内に提出してください。

⑥全ての書類が本学府に到着した時点をもって、出願手続が完了となります。

※Web出願システムに出願申請を行っただけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。

※出願手続の詳細は、本要項及びWeb出願システムにて確認してください。

本学府において特定の専門事項について研究することを志願する者については、教育研究に支障のない場合に限り、選考を行い、研究生としてふさわしいと思われる者（若干名）の入学を許可します。

選考においては、日本語、英語のいずれかの能力に秀で、大学院博士課程後期に進学して研究を継続する意欲を持つ人など研究に真摯に取り組む人を特に優先します。

I 募集人員

経済学専攻 若干名

II 出願資格及び出願要件

次の出願資格のいずれかに該当し、かつ、出願要件を満たす者が出願できます。

<出願資格>

- (1) 修士の学位を有する者、および入学時まで取得予定の者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者、および入学時まで取得予定の者
- (3) その他本学府において、前各号に規定する者と同等以上の学力があると認められる者

<出願要件>

外国人の出願者については、日本語能力試験のN1またはN2を受験している者。(2009年以前に日本語能力試験を受験した者については、1級または2級を受験したもの。)ただし、日本の高等学校又は四年制の日本の大学で、日本語による教育を受けた者は、日本語能力試験の受験は問わない。

III 入学の時期と研究期間

研究生の入学時期は、平成28年度4月入学、又は平成28年度10月入学とします。研究期間は次のとおりとします。なお、研究期間の延長については「XI 研究期間の延長」を参照してください。

①入学の時期を学年の初め(4月)とする場合(以後「春学期入学」)

半年(平成28年4月1日～平成28年9月30日)もしくは、
1年(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

②入学の時期を秋学期の初め(10月)とする場合(以後「秋学期入学」)

半年(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

IV 選考方法

(1) 選考基準

提出された書類をもとに、大学院における成績、日本語・英語のいずれかの能力、審査用論文と研究計画等を総合的に評価して選考します。「日本語」、「英語」のいずれか希望する分野を一つ願書に記入してください。

※ただし、日本の高等学校又は四年制の日本の大学で、日本語による教育を受けた者は日本語を選択できません。

(2) 指導教員

出願前に指導を希望する教員に email で連絡を取り、引き受け内諾を得てください。各教員の専門分野と email アドレスは別表で確認してください。なお、希望する教員に連絡を取る際は、経済学務係(int.keizai@ynu.ac.jp)にCCで同じメールを送ってください。また、別表に email アドレスが掲載されていない教員と連絡を取る際は、件名に教員名を入れ、本文に「経済学専攻博士課程前期研究生入学希望」と明記したうえで経済学務係(int.keizai@ynu.ac.jp)にメールを送ってください。件名の教員宛てに転送します。

なお、教員の内諾を得ただけでは、合格とはならないことに注意してください。

V 出願手続及び期間

1. 出願手続方法

(1) 出願手続

- 1) Web出願システムにアクセスし、メールアドレス等の登録を行ってください。引き続きWeb出願システムにログインし、必要な事項を全て入力して出願申請を行ってください。

出願申請期間

- 春学期入学：平成28年1月25日（月）～1月29日（金）
- 秋学期入学：平成28年7月25日（月）～7月29日（金）

URL : <https://e-apply.jp/e/ynu-rs/>

※一度「出願申請」をクリックした後は、登録内容を変更することはできません。

- 2) 出願申請後、支払手続画面の指示に従って入学検定料の支払手続を行ってください。（入学検定料の支払い方法は、「3. 提出書類」の「⑫入学検定料」を参照してください。）

なお、**支払手続**は以下の期日までに完了してください。

- 春学期入学：平成28年1月29日（金）
- 秋学期入学：平成28年7月29日（金）

- 3) 支払手続後に受信した支払完了通知メールをA4サイズ用の紙に印刷してください。

- 4) 「3. 提出書類」の内容を取りそろえ、以下の出願期間に提出してください。

出願期間

- 春学期入学：平成28年2月1日（月）まで（郵送の場合も必着）
- 秋学期入学：平成28年8月1日（月）まで（郵送の場合も必着）
（提出先は「2. 出願期間及び提出先」を参照してください。）

(2) 注意事項

- ①出願手続は、Web出願システムによる出願申請、入学検定料の支払い及び必要書類の提出のすべてが、春学期入学は平成28年2月1日（月）までに、秋学期入学は平成28年8月1日（月）までにそれぞれ完了（郵送の場合は必着）していることが確認されたもののみ受理します。
- ②Web出願システムの入力において、一定時間（約20分間）何も操作を行わなかった場合は入力内容が取り消される場合があります。
- ③Web出願システムにおける入力作業を一時中断する場合は、「一時保存」をクリックしてログアウトしてください。再ログイン後、入力を再開することができます。これ以外の方法で入力作業を中断した場合は、入力内容が取り消されます。
- ④Web出願システムの操作方法に関するお問い合わせは、以下へお願いします。

株式会社ディスコ 「学び・教育サポートセンター」

TEL : 0120-708898（受付時間：月～金 10:00～18:00）

E-Mail : cvs-web@disc.co.jp

2. 出願期間及び提出先

(1) 出願期間（出願書類の提出期限）

- 春学期入学：平成28年2月1日（月）まで（郵送の場合も必着）
- 秋学期入学：平成28年8月1日（月）まで（郵送の場合も必着）

- (2) 提出先 : 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3
横浜国立大学社会科学系経済学務係
Graduate School Office, Graduate School of International Social Sciences
Yokohama National University
79-3 Tokiwadai, Hodogaya-ku, Yokohama, 240-8501 JAPAN

- (3) 提出方法は、窓口への持参又は書留による郵送とします。

①窓口受付は平日9時～17時、時間厳守です。（12時45分～13時45分を除く。）

- ②郵送の場合は書留速達、海外からの郵送の場合はEMSとし、封筒表面にWeb出願システムから印刷した宛名ラベルを貼付して郵送すること。
- ③提出の際は、本募集要項末尾の「研究生出願提出書類チェック票」を印刷し、提出書類に漏れがないか確認のうえ同封すること。

3. 提出書類

以下の①～⑫（英語を選択した志願者は①～⑬）のうち該当する書類を提出してください。

なお、①、③は入学検定料を支払った後、Web出願システムからA4サイズ用の紙に印刷してください。

- ①入学願書 志願者の氏名、連絡先、学歴等について入力し、Web出願システムから印刷後、写真（縦4cm、横3cm）を貼付したもの。
- ②審査用論文 これまでの研究成果を示す論文2点以内及び論文の要旨各1部。ただし、研究成果を示す論文には、修士（請求）論文、既発表論文、リサーチペーパー、あるいは調査報告書、プロジェクト企画書、実績報告書等をもって代えることができます。（これらが複数ある場合は、主要なもの数点を提出してもかまいません。）
なお、共同執筆の場合は本人執筆箇所を明記してください。論文の要旨は、それら報告書等の概要をもって代えることができます。
- ③研究計画書 Web出願システムにて必要事項を入力後、A4サイズ用の紙に印刷し、提出すること。
- ④成績証明書 出身大学院（研究科長）が作成し、発行者（大学院等）において厳封したもの。（編入学した者は、編入学前の出身校の成績証明書を併せて提出してください。）
※「厳封」とは、証明書の入った封筒が一度も開かれていないことを示すために、封じ目（封を閉じた部分）に押印（大学院の公印や緘印等）もしくは学長または研究科長による署名がしてある状態を指します。これは、証明書の内容が発行後に変更されていないことを証明するために必要となります。
- ⑤修了証明書又は修了見込証明書
証明書の原本を提出。修了証書原本（証書）や証明書のコピーは認めません。
- ⑥学位授与証明書
修了証書に学位について記載のある場合、また、修了見込みの者は提出不要。
- ⑦出身大学院の教員2名の推薦状 各1通
様式は自由ですが、以下の事項を記入してください。
ア) 大学名、イ) 役職名、ウ) 氏名、エ) 日付、オ) 推薦文
- ⑧就職している者は、勤務先の所属長の承諾書
- ⑨住民票記載事項証明書等（外国人のみ提出。）
市区町村長の発行する住民票記載事項証明書（出願前3か月以内に交付されたもので、「国籍」「在留資格」「在留期間等」「在留カード番号」が明記されたもの）を提出すること。ただし、日本以外に在住し、住民票記載事項証明書を取得していない場合は、パスポートの写しを提出してください。
- ⑩日本への留学経験がある場合は、日本滞在時の教員の推薦状（外国人のみ提出。）
様式は自由ですが、以下の事項を記入してください。
ア) 大学名、イ) 役職名、ウ) 氏名、エ) 日付、オ) 推薦文
- ⑪日本語能力試験N2以上の成績証明書（該当者（出願要件を確認）のみ提出。）
※日本国際教育支援協会の発行する「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」の原本を提出してください。コピーは不可。
※「日本語能力認定書」「日本語能力試験可否結果通知書」の提出は認めません。

⑫入学検定料 9,800円

Web出願システムで出願申請した後に表示される支払手続画面に従い、春学期入学は平成28年1月29日(金)までに、秋学期入学は平成28年7月29日(金)までにそれぞれ支払手続を完了してください。

支払手続後に受信した支払完了通知メールをA4サイズ用の紙に印刷したものを提出してください。

【支払方法は次から選択できます】

- a. コンビニエンスストア
- b. Pay-easy (ペイジー) 対応ATMによる支払
- c. Pay-easy (ペイジー) 対応ネットバンクによる支払
- d. クレジットカード (海外在住の志願者及び外国人留学生志願者のみ)
- e. 中国銀聯網決済 (海外在住の志願者及び外国人留学生志願者のみ)

※支払時に別途必要な支払手数料は、志願者本人の負担となります。

※支払方法の詳細は、Web出願システム「はじめに」の「検定料の支払いについて」を参照してください。

※コンビニエンスストア及び Pay-easy (ペイジー) 対応ATMの支払方法を選択した場合は、Web出願システムの画面に表示された各種支払用の番号を当該支払機関に持参の上、お支払いください。

※支払後に受取るお客様控え又は支払完了通知メールを印刷したものは、ご自分の控えとして大切に保管してください。

※普通為替や現金では受理できません。

※出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の入学検定料は返還いたしません。

- ・入学検定料を払い込んだが本学大学院に出願しなかった場合、又は出願が受理されなかった場合
- ・入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

【返還方法の問い合わせ先】社会科学系経済学務係 (045-339-3509)

【英語を選択した志願者※が提出する書類】※「IV 選考方法(1) 選考基準」を参照

⑬英語力に関する証明書 (a または b の証明書を送付すること)

a. TOEFL の成績証明書

出願期間最終日において2年以内に受験したスコアを試験実施機関 EDUCATIONAL TESTING SERVICE (ETS) から直接横浜国立大学に送付する手続きをしてください。横浜国立大学のコード番号は **0410** です。出願期間内に必着するよう早めに手続きをしてください。また、①直送手続日と②おおよその到着予定日を記入したメモを必ず出願書類に同封してください。

TOEFL-ITP (団体向けテスト) のスコアについては、**受付できません**。

b. IELTS の成績証明書

IELTS 公式の「成績証明書 (Test Report Form)」は各国の IELTS 事務局から**大学へ直送**されることになっています。志願者本人に送られている成績証明書とは異なるものですので、十分ご注意ください。手続き方法や発行に要する日数等については、各国の IELTS 事務局のホームページに詳しく掲載されていますので、そちらを参考にしてください。また、①直送手続日と②おおよその到着予定日を記入したメモを必ず出願書類に同封してください。

成績証明書の送付先の住所と宛名は以下のように記載してください。

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8 横浜国立大学 学務・国際部 入試課 Admission Division, Student Affairs and International Relations Department, Yokohama National University 79-8 Tokiwadai, Hodogaya-ku, Yokohama 240-8501 JAPAN

※なお、成績証明書の送付手続きをする際は、出願期間内までに本学へ成績証明書が届くように日数に余裕を持たせて手続きを済ませてください。出願期間内（春学期入学は平成28年2月1日（月）、秋学期入学は平成28年8月1日（月））までに成績証明書が本学に届いていない場合、原則として出願は受理されません。

VI 身体に障害のある者の出願

身体に障害のある場合（出願受付後の不慮の事故による負傷者等を含む）は、修学上特別な配慮を必要とすることが起こり得ますので、「XIII 障害等のある入学志願者の事前相談について」の別表を参照し、事前相談様式にて社会科学系経済学務係へ相談してください。

なお、別表から判断できない場合については、社会科学系経済学務係へお尋ねください。

VII 選考結果の発表

選考結果は本人に郵送で通知いたします。

VIII 入学手続、入学許可及び入学時に必要な経費

合格者は入学手続期間（別途通知）内に、入学料および授業料を納入してください

1. 入学の時期 平成28年4月 又は 平成28年10月
2. 入学料 84,600円〔現行〕
3. 授業料年額（半年）178,200円（1年間） 356,400円〔現行〕

入学時及び在学中に入学料、授業料等の納付金額の改定が行われた場合には、改定時から新しい納付金額が適用されます。

4. 選考結果通知発送時に、入学手続書類を送付します。
5. 出願時に修了見込みであった者は、入学手続前に修了証明書を提出してください。
6. 大学の学生寮の入居募集は入学前に行います。希望者は早めに確認してください。申込方法については下記 URL を参照してください。

<峰沢国際交流会館及び留学生会館>

<http://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/>

※学生寮への入寮申込みは本人がおこなう必要があります。

7. 日本政府奨学金受付については学生支援課のサイトを参照してください。

<http://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/expense/domestic/jasso/>

IX 在留資格認定証明書

本専攻では「日本^{●●●●}国外に在住しており、且つ、日本国内における代理人が^{●●●●}親族でない研究生入学予定者」の在留資格認定証明書交付申請を一括して行っております。在留資格認定証明書が必要な場合は、次のように手続きをしてください。

○合格者が決定され次第、「在留資格認定証明書交付申請書」をEメールで「日本国外に在住する合格者」宛に送信します。合格者は必要事項を記入した「申請書」を所定の期日までに経済学専攻へ返信（郵送）してください。

○合格者から提出された「申請書」を基に、在留資格認定証明書交付申請を本専攻が代理で行います。在留資格認定証明書が発行され次第（申請後1カ月から3カ月）、日本国内における代理人に送付します。その際に合格通知書も併せて送付します。

○在留資格認定証明書を受領したら、日本国在外公館でビザの申請を行ってください。

【注意】「日本^{●●●●}国内に在住している研究生入学予定者」および「日本国外に在住しており、且つ、日本国内における代理人が^{●●●●}親族である研究生入学予定者」については、本専攻では代理申請を行いません。

X 注意事項

1. 研究生に関する事務は、横浜国立大学社会科学系経済学務係で行います。
2. 本学府研究生は本学の単位および学位を取得できません。
3. 研究生に関する照会は、int.keizai@ynu.ac.jp 宛に電子メールにてお問い合わせください。
4. 出願手続後の提出書類、納入済の検定料、入学料及び授業料は、一切返還しません。

5. 研究期間として許可される期間は、入学手続き時に納入した授業料分に相当する期間（半年又は1年）とします。

XI 研究期間の延長

- (1) 研究期間の満了の際、特別の事情があると認められるときは、選考のうえ、1年又は半年の期間で許可されます。ただし秋学期の始めに延長する場合は、当該秋学期の半年のみとします。研究期間の延長を希望する場合は、延長手続きを必ず行ってください。（例年2月と7月に実施）所定の手続期間以外で延長の手続きはできません。
- (2) 研究生在籍期間は通算して2年を超えることはできません。

XII 個人情報の取り扱いについて

「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」（個人情報保護法）の規定に基づく、「国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に則り、出願書類等により、志願者から提出された個人情報については、本学府研究生入学者選抜に係る用途の他、本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究に関する業務にのみ使用し、他の目的に利用、または提供されることはありません。

XIII 障害等のある入学志願者の事前相談について

入学を志願する者で、別表に該当する者（出願受付締切後の不慮の事故による負傷者等を含む）は、修学上特別な配慮を必要とすることが起こり得ますので、出願する前に必ず社会科学系経済学務係へ次の様式により事前に相談してください。

なお、下表から判断できない場合については、お尋ねください。

別表

区 分	身 体 障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号にかかげる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

(様式) A4判縦

平成 年 月 日

横浜国立大学長 殿

ふりがな
氏 名
生年月日
住 所 〒
電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学府・専攻
2. 身体の障害の種類、程度
3. 受験に際して配慮を希望する事項
4. 入学後の修学に際して配慮を希望する事項
5. そ の 他
(添付書類) 診断書又は身体障害者手帳(写)、その他参考資料

氏 名 (連 絡 先)		研究分野等
秋山 太郎	Taro AKIYAMA akiyama # ynu.ac.jp	数学の成績を重視し、理系学部出身者も積極的に受け入れる。経済学部・経済学科卒業の志願者については、ミクロ経済学の成績も重視する。
池島 祥文	Yoshifumi IKEJIMA	農業経済学、地域経済論 外国籍の者は日本語、日本国籍の者は英語分野で選考する。
石山 幸彦	Yukihiko ISHIYAMA	欧米経済の歴史的分析 日本語と研究対象国言語の読解力が必要。
伊集 守直	Morinao Iju iju # ynu.ac.jp	財政学、地方財政論、社会保障論
居城 琢	Taku Ishiro	地域経済論、産業連関論、環境経済論 地域経済における中小企業の分析 地域経済における環境問題の分析 日本の各地域や世界の各地域の地域間分業の分析
植村 博恭	Hiroyasu Uemura huemura # ynu.ac.jp	比較経済システム分析・マクロ経済分析を研究。マクロ経済学・ミクロ経済学、英語・日本語の能力が必要。英語論文を読める能力があること。
氏川 恵次	Keiji Ujikawa ujikawa # ynu.ac.jp	環境経済学・国民経済計算論（産業連関論） 日本人は英語、留学生は日本語分野によるが、ともに数学も高いレベルが必要。
大森 義明	Yoshiaki Omori omori # ynu.ac.jp	労働経済学、家族の経済学、応用ミクロ計量経済学。
岡部 純一	Junichi Okabe	経済統計学・社会統計学・比較統計制度論 高いレベルの日本語が必要。
奥村 綱雄	Tsunao Okumura	ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、日本語、英語とも高いレベルが必要。
加島 潤	Jun Kajima	アジアの経済史 日本語・英語の能力のほかに、研究対象とする地域の言語を修得していることが望ましい。
木崎 翠	Midori Kizaki	経済学の既習者であること。
熊野 太郎	Taro Kumano	ミクロ経済学・数学とも高いレベルが必要。
小林 正人	Masahito Kobayashi mkoba # ynu.ac.jp	計量経済学の理論的な研究を行う。微積分（高等数学）、線形代数、数理統計学（確率論と数理統計）を履修済みのものに限る。
佐藤 清隆	Kiyotaka Sato sato # ynu.ac.jp	為替レート、国際金融の実証研究
シュレスタ ナゲンドラ	Shrestha Nagendra shrestha # ynu.ac.jp	国際産業連関表の推計・分析、為替レート（統計学・数学が必要）
鈴木 雅貴	Masataka Suzuki	ファイナンス分野の理論および実証研究を行う。数学・確率論および計量経済学に関する一定以上の知識を前提とする。
相馬 直子	Naoko Soma nsoma # ynu.ac.jp	社会福祉政策 日本語・英語とも高いレベルが必要。日本人学生は英語、留学生は日本語分野を選択すること。
張 馨元	Xinyuan Zhang xinyuan-zhang-wg # ynu.ac.jp	新興アジア経済論、食料経済。地域研究に関する知識と高い英語力を要求する。
鶴岡 昌徳	Masanori Tsuruoka	公共工事の入札の理論及び実証研究。ミクロ経済学、計量経済学の高水準の知識が必要。
土井 日出夫	Hideo Doi	労働価値論と現代資本主義論の関連について、何らかの見解を有することを条件とする。
永井 圭二	Keiji Nagai	数理統計学の理論的研究。解析学・線形代数の知識があることを前提とする。
中村 靖	Yasushi Nakamura	経済発展の歴史的比較、国民経済計算を利用したシミュレーションモデル、ロシア東欧地域の経済、移行経済
中村 良夫	Yoshio Nakamura	研究分野は経済学やマーケティングではなく人文科学的なアプローチである。日本人学生は英語、留学生は日本語分野を選択すること。
西川 輝	Teru Nishikawa	国際経済政策 日本語、英語とも高いレベルを要求する。
パーソンズ クレグ	Craig Parsons	数学（マクロ経済・ミクロ経済・微分積分）・英語とも高いレベルが必要。
深貝 保則	Yasunori Fukagai yfukagai # ynu.ac.jp	経済思想の歴史、経済と倫理、統治や文明のあり方などに関心を持つ方。

氏 名 (連 絡 先)		研究分野等
藤生 源子	Minako Fujio	マクロ経済動学、経済成長理論。マクロ経済学・ミクロ経済学の基本的な知識、及び、高い語学能力（英語もしくは日本語）を必要とする。
邊英治	Eiji Hotori	近代日本経済の歴史（1860～1930年代）研究。高いレベルの日本語とくずし字等の判読力を必要とする。
マッコーレー アレクサンダー	Alexander Mcaulay	英語教育
松永 友有	Tomoari Matsunaga	国際経済史 日本語、英語ともに高い読解能力が必要。
無藤 望	Nozomu Muto	ミクロ経済学・数学とも高いレベルが必要
山崎 圭一	Keiichi Yamazaki yamazaki # ynu.ac.jp	発展途上国（主にラテンアメリカ）の開発について、地域開発・地方自治・地方財政の視点に重点を置いて研究している。

※連絡先の#を@に変えてください

研究生出願提出書類チェック票 (経済学専攻 博士課程前期)

入試の種類	博士課程前期 研究生	受験番号	※記入不要	氏名		
No.	チェック欄 (<input checked="" type="checkbox"/>)	提出書類等			日本語分野 選択者	英語分野 選択者
1	<input type="checkbox"/>	入学願書 (所定用紙)			●	●
2	<input type="checkbox"/>	研究計画書 (所定用紙)			●	●
3	<input type="checkbox"/>	審査用論文 2点以内			●	●
4	<input type="checkbox"/>	上記 (No.3) の審査用論文の要旨			●	●
5	<input type="checkbox"/>	入学検定料支払完了通知メールの写し			●	●
6	<input type="checkbox"/>	成績証明書			●	●
7	<input type="checkbox"/>	修了 (見込) 証明書			●	●
8	<input type="checkbox"/>	修士学位授与証明書 (修了証明書に修士学位の記載がある場合は不要)			△	△
9	<input type="checkbox"/>	出身大学院教員の推薦状 2通 (2名分)			●	●
10	<input type="checkbox"/>	日本滞在時の教員の推薦状 1通 (日本への留学経験のある外国人のみ)			△	△
11	<input type="checkbox"/>	TOEFL, TOEIC 又は IELTS の成績証明書			△	●
12	<input type="checkbox"/>	日本語能力試験の成績証明書			●	△
13	<input type="checkbox"/>	住民票記載事項証明書 (外国人のみ提出)			△	△

記号の説明 ●: 必ず提出する △: 該当者のみ提出する

<注意事項>

- 提出書類は募集要項をよく読み、厳封の指示、原本 (コピー) の提出など間違いのないよう注意してください。
- 提出する書類のチェック欄の に✓印を付け、本チェック票も同封してください。
- 本チェック票を表紙とし、No. の順に並べて封入し、送付してください。